

SDGs(持続可能な開発目標)とは、国連で日本を含む全世界が同意した2030年までに達成すべき目標です。

ひろかわSDGsプロジェクト

SDGs: 目標9「産業と技術革新の基盤を作ろう」

達成のために広川で頑張っている団体 → 「久留米餅広川町協同組合」 「ひろかわ新編集」

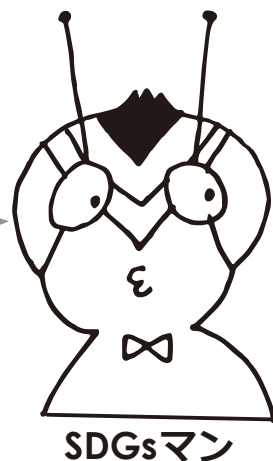
広川町の伝統産業である「久留米餅」。作るには当然、道具が必要ですが、久留米餅の機械は100年以上昔のものもあり、その老朽化から存続が危ぶまれています。製造が終了してしまった革製のパーツをプラスチックで作り替えたり、鉄製のパーツは型から作ったり……。これらの前には成分の分析などもあり、専門知

識も必要です。

そこで現在、久留米餅協同組合と久留米工業大学が提携し、技術革新が行われています。古いものの良さを次世代に残すために、最先端の知識を取り入れて復元する。この温故知新の考え方こそ、広川町の産業と技術革新の基盤を作っているのかもしれない。



道路、電力、水道など昔ながらのインフラのほか、現代ではインターネットなども社会や経済を支えるために必要不可欠なインフラとなっています。今回取り上げた「地域の産業を支える基盤」という視点で考えると、伝統的なモノづくりの機械なども守り育てていかなければいけません。
身の回りにあるあなたを支えているものはなんですか？意識しないだけで、さまざまなインフラに支えられて私たちは生きています。壊れてから気づくのではなく、その前に存在を意識し、長い目で見た利益のために一人ひとりが動く必要があります。



より深く知るために、次のようなキーワードで検索してみましょう。

レジリエントなインフラ 検索 技術革新 検索

広川文芸



広川町老人クラブ連合会作品展

保健・福祉センター「はなやぎの里」で2月2日(土)〜3日(日)、広川町老人クラブ連合会の作品展が行われました。絵画や書、写真、手工芸品など約200点が並び、来場者を楽しませました。

この作品展は、町民の「生きがいがづくり」を目的に行われているもの。日ごろから制作している作品を展示して町内の皆さんに知ってもらおうと、数十年前から開催されています。

会場には風景写真やバッグ、服飾雑貨、インテリア用品など、趣向を凝らした作品がずらり。小倉百人一首すべての歌の意味を考えて書いた大作など、見応えのある作品が並びました。

